

できる



する

つながる
体育

支える



かかわる

わかる

見る

平成27年10月9日体育専科 永井悠介

最後のもくもくデー

体育の授業中に、うれしい表情の1年生が、私に向かって声を張り上げます。

「森田先生、見てください。」

その児童は、「うっ、永井先生、出来ました。」と、きまりが悪そうに言い直しをしました。本当にうれしいことは、やはり担任の先生に見てもらいたいのだろうと、子供達の喜びがこちらまで伝わってきてうれしい気持ちになりました。もちろん、名前を間違えて呼ばれたことは、気にもなりません。

学校生活の中では、担任の先生、学級や学年の友達とかかわることがほとんどだと思います。ですから、名前を呼ぶのも担任の先生、学級や学年の友達が多いことでしょう。今年度は、長い休み時間に学年の違う友達と一緒に遊ぶ「もくもくデー」を6月から続けてきました。グラウンドでは、鬼ごっこ、かたき、ケンパ遊び、ドッジボールなど、たくさんの遊びが繰り広げられていました。「〇〇君、すごい。」「〇〇さん、楽しいね。」と、いつもの休み時間とは違う名前を呼び合っていました。こんなやり取りもありました。

「う～ん。だれだっけ。〇〇君のお姉ちゃんのことだけど……。う～ん。」

「だから、〇〇ちゃんだよ。さっきも言ったよ！」

「(皆で) ははは。」

名前の呼び間違いだけではなく、学年、普段の遊び、体力など様々な違いがある中であっても、一緒に遊びたいという心があれば、楽しさは共有できるものだと子供たちの様子から感じました。水曜日のもくもくデーでは、ドンジャンケンをしていた4年生の児童が、「2年生のルールだと、私たち(4年生)は絶対に勝つことができないのだよな。」と、幸せそうな表情で教えてくれました。



1年生と6年生のケンパ遊び



6年生がジャングルジムのお手本



2年生と4年生のはないちもんめ

つながる体育

する

見る

支える

まだまだ、スポーツの秋

帯広市で初霜を観測したのは、6日でした。登校してくる子供達の息が少しずつ白くなっていることから、秋の深まりを感じます。霜が降りると、グラウンドが滑りやすくなるために、外での体育ができなくなります。サッカー、ゴムとび、鉄棒運動とまだまだグラウンドで運動したいことがあるので、グラウンドが使えなくなることが心配で今年の授業記録を調べてみました。

<11月6日(木)3年生……ラインサッカー(ブラジル体操、ボール慣れ、卵割ゲーム)、
「ボールが高い場合のゴールの判定はどうしますか。」>

最後にグラウンドを使った3年生の授業内容、児童の発言が記録されていました。11月6日までグラウンドを使って体育をしていたことがわかり一安心。

今週末は、体育の日です。体育の日には、様々なスポーツイベントやスポーツ施設の開放が行われます。また、恒例となっている国民の「新体力テスト結果」が文部科学省から公表されます。学校では、水泳授業も続きます。鉄棒のテストも来週から始まります。霜月(11月)は、まだ先です。スポーツの秋が佳境です。



運動のヒ♡ミ♡ツ



「大ジャンプでも安心」

2年生は跳の運動遊び、3年生は幅跳び、5・6年生は走り幅跳びの学習をしています。ジャンプするまでに走る距離など、学年によって学習する内容は違いますが、安全に着地するためにひざを曲げることはどの学年でも学習します。

少しずつジャンプになれてくると、1cmでも遠くに跳びたいと思うのは当然です。少しでも遠くに着地するために、ぎりぎりまで足先を上にあげていると、お尻から着地してしまうことがあります。2年生では、自分の足の力でしっかりと着地する動きを身に着けるために、砂場ではなくグラウンドを使って着地の練習をしました。そのため、ズルっと滑ってしりもちをついてしまった人もいました。「痛いな。砂場なら痛くないはずだ。」と、感じた人もいたことでしょう。

砂場では、お尻から着地してもそれほど痛みは感じません。それは、砂場がふかふか状態だからです。走り幅跳び用の砂場は、砂を掘り返して柔らかい状態にしています。5月の環境整備の時にはたくさんの保護者の方に砂場の深いところまで掘り返してもらいました。授業の前には、私が使用する範囲の砂場を掘り返しています。

大学で先生になる勉強をしていたころ、走り幅跳びの授業で1時間目は砂場の掘り返しと、砂場の周りの木わくをしっかりと見えるようにほうきでかくことでした。皆さんが、目一杯ジャンプしている様子を見ていると、大切なことなんだと改めて感じました。